



まなびかんニュース パソコン道場

まなパソコン道場

第47回

紙面記載の画面は
Windows7+Office2013
操作環境によっては表示
が異なる場合があります

Windowsフンポイント

白帯級

データベース関数でカウント

Excel DCOUNT関数

	A	B	C	D
1	名簿No.	性別	年齢	住所
2	0001	男性	66	逸見
3	0002	女性	58	大津
4	0003	男性	71	追浜
5	0004	女性	80	追浜
6	0005	男性	73	浦賀
7	0006	男性	35	田浦
8	0007	女性	60	久里浜
9	0008	男性	49	追浜
95	0094	女性	66	根岸
96	0095	男性	63	森崎
97	0096	男性	45	田浦
98	0097	女性	51	追浜
99	0098	男性	70	追浜
100	0099	女性	64	逸見
101	0100	男性	63	根岸

上図のような会員名簿があるとすると、仮に100件のデータの中から、「60歳以上で追浜に住んでる女性の人数は？」をカウントする場合、いちいち数えてたら途中で嫌になる。

そこで今回はデータベース関数のひとつであるDCOUNT関数で「条件に一致する数値の個数」をカウントしてみよう♪

今まで1件ずつ目で追っていた人は、ぜひこの関数の使い方を覚えよう。慣れると超便利！

- 1 条件を見てみると、性別=女性、年齢>=60、住所=追浜 の3つ。
まずは[項目A1:D1をコピー]→[F1:I1に貼り付け]→[下段に条件を入力]。
この時、項目は必ず一致していることが必須のためコピー&貼り付けがベスト。

項目を含めた、F1:I2が条件(範囲)になる。
横に並んだ条件はAND条件といい、「女性」かつ「60歳以上で」かつ「追浜」の3つすべてに当てはまるという条件を指定したことになる。*年齢の>=60は半角英数で入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	名簿No.	性別	年齢	住所		名簿No.	性別	年齢	住所
2	0001	男性	66	逸見			女性	>=60	追浜
3	0002	女性	58	大津					
4	0003	男性	71	追浜					
5	0004	女性	80	追浜					
6	0005	男性	73	浦賀					
7	0006	男性	35	田浦					

件数は？

セルH5:H6に「件数は？」という計算結果欄を作っておこう

- 2 セルH6に以下を半角英数で入力。

=DCOUNT(A1:D101,C1,F1:I2)

書式は =DCOUNT(データベース, フィールド, 条件)

条件は項目を含めたセル=F1:I2を指定

フィールドは数値がならば「年齢」の値でカウントするため、項目名であるセルC1を指定する

=DCOUNT(A1:D101,C1,F1:I2)									
D	E	F	G	H	I				
住所		名簿No.	性別	年齢	住所				
				>=60	追浜				

式を確定すると結果が得られる。このように条件範囲を作って計算できる関数もあるんじゃ。

件数は？
11

白帯級
初級レベル

茶帯級

中級レベル

黒帯級

上級レベル